



賃金が上がらないのは「派遣」制度だから

プーチンのウクライナ侵略で、物価は上がった。政府は大会社に賃上げを促すが、功を奏していない。それはあらゆる所に「派遣労働」と云う低賃金の間接雇用が拡がっているから。派遣労働者が「賃金を上げて」と要求したら雇う側は安い他の派遣会社に替えてしまう。

生活を支えるのが賃金

新卒で就職したての時、生活費は余り要らない。結婚して子供ができると生活費が増えるから賃金が上がって当然。勿論人によって違うが社会全体で見れば平均的な生活費は年齢と共に増える。

「年を食っただけで賃金上がる年功賃金はダメ」と云う人はこの事実を無視している。その一方「年をとると子供も独立。生活費も余り要らないだろう。賃金を下げる」と云う。それは「賃金は生活費を賄う物」と云う事を証明している。

生活費を賄えない低賃金の派遣がまかり通るから、結婚できない、少子化が進んでいる。

派遣労働を変えるには

これを変えるには派遣労働の規制が必要。現在、派遣社員を同一職場に三年以上受け入れたら直接雇用しなければならぬ。それを嫌がり、三年になる前に派遣を止めている。元々派遣は一時的な労働力不足を補うもの。だから多数の派遣労働者を常時使うのはおかしい。例えば「派遣等の間接雇用の半分は翌年直接雇用とする」などすべきでは？

あなたはどお思われますか？

浦底湾

沖縄県石垣市樽海 糸名川原

二〇二二年十一月



糸名川原(シトウナカーラ)は石垣島の北側にある。遠くの際は深いから、濃い紺色に見える。珊瑚礁があつて浅い所はエメラルドグリーン。静かな海。浅い証拠に緩やかな波がその辺りで崩れている。

目の前の浦底湾は陸地に囲われているように見えるが右手の陸地の先は東シナ海に向けて大きく開いている。

この辺りから左手の浜にはシュノーケリングやスキューバダイビングのスポットが沢山並んでいる。

海岸近くの浅い海で水中眼鏡を付けてシュノーケルで泳ぐと、珊瑚礁の間を、カラフルな熱帯魚が泳ぐのを見る事が出来る。

対岸はリゾート施設が並ぶ川平。岬の先端近くに赤い屋根の建物が並んでいる。

十一月の第三週、第四週は休刊しました。

